



SSH通信

第4号

令和3年7月20日 発行

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1

電話 03-3382-0601

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

探究発表会

探究発表会では、中学1学年から高校1学年は課題研究「富士未来学」で学んだことについて、高校2学年は自分の課題研究について、ポスターセッションを行いました。高校3学年は質問者として指導・助言を行いました。

中学1学年「探究とは何か」

「探究とは何か」では、探究の定義を説明したり、探求との違いを説明したり、調べ学習との違いを強調していたり、内容も様々でした。「討論講座」では、異なる意見の大切さに触れた内容が多かったです。

生徒のコメント

調べたきっかけを書いている人と書いていない人を比べると、書いてある人の方が興味を持つことができたので、必ず書いていこうと思った。

SSH運営指導委員からのコメント

中1は3か月前まで小学生であったとは思えない。SSH・富士中高の教育と適性試験で選抜した生徒のポテンシャルの高さの相乗効果で非常に恐ろしいことになるのではないかと期待している。



中1の発表に高3の生徒が質疑応答する異学年交流

中学2学年「探究者の資質とは」

「研究倫理講座で学んだこと」では、ねつ造、改ざん、盗用はしない、という決意が多くみられました。「論文をなぜ書くのか」では、論文を書く理由は、他の人のためになるから、自分の疑問が明らかになるから、など岐にわたっていました。

生徒のコメント

同じテーマを多角的に見れたと感じる。例えば中2の「探究者の資質」について論文を書くことについて、論文と他のエッセイ、作文などと比べたりするためなどの自分とは違う意見を聞いた。

SSH運営指導委員からのコメント

多くの生徒が発表会で挑戦力が最も大事だと言っていた。挑戦力というSSHのコンセプトが中学1・2年生にしっかり伝わっているという印象を大きく受けた。これは驚くべきことである。

「探究者の資質とは」という
問いに対して自分の主張を発表

中学3学年「プレ課題研究に向けて」

「探究基礎講座で学んだこと」では、実証性、再現性、客観性や3つの力である挑戦力、理数的発見力、理数的解決力についてまとめられていました。「プレ課題研究で挑戦したいこと」では、それぞれの興味関心による研究が計画されており、今後が楽しみです。

生徒のコメント

高校生の発表を見聞きして感じたのは、研究について学びはしたが、その熱意、本気度を生で感じていなかったということだ。

SSH運営指導委員からのコメント

テキストが素晴らしい。ここまで準備しているSSH校は初めてである。主に中3を参観したが、生徒もしっかり読んで、テキストをベースに自分自身で考えられていた。



プレ課題研究に向けて、
挑戦したいことを発表



熱い発表に対して、
異学年の質疑応答もさらに活発に

高校 1 学年「課題研究に向けて」

課題研究の準備として、自分の興味関心に従って調査した論文を、目的、方法、明らかになったこと、課題に整理し、発表しました。先行研究の調査は、課題を発見する助けになる場合があります。時間ができたら論文を調査し、整理しましょう。

生徒のコメント

高校 2 年生の先輩の発表を見て、自分の興味のある内容を発表するときはこんなに楽しそうなんだと思った。まだ何をするのか決めていないので、できるだけ興味のある内容について調べたい、探究したいと思った。

S S H 運営指導委員からのコメント

なぜ課題研究をするのか。テーマ研究（研究テーマ設定）を行うと生徒が伸びる。

高校 2 学年「課題研究」

高校 1 学年から継続したテーマで、それぞれのラボで課題研究に取り組み、成果を発表しました。研究概要、仮説、背景、目的、方法、結果、考察、結論、引用文献で構成されたポスターは、内容も充実し、今後に期待を抱かせます。

生徒のコメント

結論まで導き新たな疑問を考えている人が何人かいた。私も早く調査を始めて結論まで出し、新たな疑問に移れるようにしたい。

S S H 運営指導委員からのコメント

テーマがここ数年かけて良くなってきた。テキストもよくできており、1 年目なのでみんな気合が入っているようだが、2 年目から失速しないように。6 年間の学校になり、ゆっくり生徒を育てることが可能になったので、焦らずに進めていってほしい。



質疑応答も真剣そのもの



高校 3 学年「質問者として」

高校 3 学年は、後輩たちのポスターセッションに質問者として参加し、質疑応答をとおして、自身の課題研究で得られた経験を基に指導・助言を行いました。異学年交流により、生徒同士が成長し合える素晴らしい機会になりました。

生徒のコメント

・私は中学生を主に見たのですが、想像より発表内容が高く驚き、ポスターをまとめたことに加えてポスターにないことを発表しているのいいと思いました。

・まず、中学 1 年生の発表を聞いてとても感動した。高 3 である自分よりも研究について熱心であり、未来を見据えていた。

S S H 運営指導委員からの富士の S S H へのコメント

- ・半分くらいの S S H 校が理数の先生のみでスタートする中、全校的な取り組みができています。
- ・社会で利用されている統計学の学びにしっかり取り込まれる内容は、大変重要だと思います。また、探究用資料も大変丁寧に作りこまれていると思いました。周囲条件としては、非常に良い状況で始動されている印象をもちました。
- ・探究の学びや経験が、生徒の皆さんの今後の人生に有機的に結びつく仕組みや指導がこれからの課題の一つかと思いました。委員のどなたかが指摘されていましたが、社会系の視点やその探究課題への取り込みは、その意味で非常に重要です。私たち大人が、手段と目的の意味を常に意識しながら指導を進めることも忘れてはいけないと思います。



生物班の高度な発表にも高い関心が